

令和7年度

主要・新規事業等の概要

令和7年6月定例会補正予算（第3回）

人と想いが
つながつながるしあわせなまち
大家族 たかはま



高 浜 市

目 次

一 般 会 計

3 款 民生費

No. 1 重層的支援体制整備事業

 (まぜこぜの居場所づくり実態調査等支援業務委託) 【新規】 4

第7次高浜市総合計画における体系別 主要・新規事業一覧

Ⅳ 心もからだも元気 毎日を笑顔で暮らそう

- №. 1 重層的支援体制整備事業
(まぜこぜの居場所づくり実態調査等支援業務委託) 4

主 要 ・ 新 規 事 業 等													
事業名等		重層的支援体制整備事業 (まぜこぜの居場所づくり実態調査等支援業務委託) 【新規】											
担当グループ		福祉部共生推進グループ											
総合計画区分		基本 目標	Ⅳ 心もからだも元気 毎日を笑顔で暮らそう					個別 目標	(11) その人らしく安心して生活できる 地域共生のまちづくりを進めます				
予算区分		会計	一般会計		款	03民生費		項	01社会福祉費		目	18重層的支援体制整備事業費	
		事業名		01重層的支援体制整備事業									
アクションプラン		☒ 該当する ☐ 該当しない											
事業概要	本事業により実現したい まちの姿	重層的支援体制整備事業の地域づくり事業として、地域住民を広く対象とした世代や属性を超えて交流できる居場所(＝まぜこぜの居場所)が提供されている。											
	事業を計画するに 至った経緯 (課題など)	認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえと連携協定を締結し、翼小学校区をモデルに「まぜこぜの居場所づくり」を行ってきた。 今後、市全域に「まぜこぜの居場所」を展開していくため、地域における居場所の現状や直面する課題などを把握し、居場所づくりの支援体制を構築していく必要がある。											
	事業を実施する目的 (何のために) 及び 目的を達成するために 取り組む事業の内容 (手段・手法など)	<目的> ・居場所づくりを進める上で、市全域における居場所について実態を把握するため。 ・市民が求める居場所の姿を把握するため。 ・「まぜこぜの居場所」に関わる人の支援や居場所の運営支援などを行うため。 <事業の内容> ①居場所に関する実態についてアンケート調査を実施し、検証を行う。 ・調査対象 こども・若者(小学生からおおむね30歳未満) 5,000名程度 ②「まぜこぜの居場所」づくりのコーディネート業務を行う。 ・居場所の立ち上げ支援や運営支援などを行う。											
	対 象 (誰・何を対象に)	・市民 ・「まぜこぜの居場所」の担い手											
目標設定 (なるべく定量的な 目標値を記入)		目標(何をどのようにする)									達成時期(いつまでに)		
		市内全部の小学校区で「まぜこぜの居場所」が1か所以上整備されている。									令和8年3月		
令和7年度	事業費(経費)		財源内訳(単位:千円)										
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
		5,000 千円	5,000	0	0	0	0						
事業費 積算内容		・まぜこぜの居場所づくり実態調査等支援業務委託料 5,000千円											
令和7年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期			
事業実施 スケジュール				契約事務									
				実態調査票の作成、発送、回収、データ集計・分析、報告書の作成									
				「まぜこぜの居場所」の立ち上げ支援や運営支援等									
補正予算書及び説明書該当ページ			25ページ										

これまでの主な取組と成果							
事業年度	令和6年度 ～ 令和 年度			総事業費	584千円		
これまでの 主な取組	世代や属性を超えて市民同士が交流できる多様な場を創出するため、認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえと連携協定を締結した。 市民と共に実行委員会を立上げ、箕小校区をモデルとした「まぜこぜの居場所づくり」を開始、令和7年1月には居場所づくりに関するフォーラムを実施し、「高浜市まぜこぜの居場所認定要綱」を制定した。 また、包括的な支援体制づくりを進めるため、複合的な課題を抱えるケースに対して福祉部及び支援機関の職員による支援会議を実施、令和7年3月には庁内連携を目的とした職員向け研修会を開催した。						
目標の達成状況及び 取組から明らかにな った課題事項など	<目標の達成状況> ・多世代化が可能な健康自生地やこども食堂等を「まぜこぜの居場所」として認定するため、要綱を制定した。 <課題事項> ・「まぜこぜの居場所」から必要な支援につなげるためのしくみづくり ・居場所の担い手や庁内職員などの重層的支援に対する理解 など						
令和7年度 (予算)	取組内容		・「まぜこぜの居場所づくり」を推進するため、プレイベントやフォーラムを開催する。 ・福祉部及び支援機関の職員による支援会議を実施する。				
	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,664 千円		829	119	0	91	625
	主な 経費	・報償費（まぜこぜの居場所づくり実行委員会謝礼等）734千円 ・需用費（消耗品費等）335千円 ・負担金、補助金（地域共生サミット負担金、まぜこぜの居場所づくり活動補助金）259千円					
令和6年度 (予算)	取組内容		・「まぜこぜの居場所づくり」を推進するため、プレイベントやフォーラムの開催及び認定要綱を制定した。 ・福祉部及び支援機関の職員による支援会議や職員研修を実施した。				
	事業費（経費）		財源内訳（単位：千円）				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	584 千円		0	197	0	0	387
	主な 経費	・報償費（研修講師等謝礼）48千円 ・需用費（消耗品費）372千円 ・役務費（通信運搬費）106千円					

